太平記 三

ウ伊5
2.754
3

旧 特 2754 巻一

太平記巻第九目録

紀州藩文庫之印

△足利直義上洛のこと

△山崎坂のこと付久我畷合戦のこと

△足利直義ふたたび山を打越うこと

△足利尊氏摂津へ出張のこと

[illegible]

[illegible]

▲[illegible]氏[illegible]と[illegible]村の八幡宮[illegible]

[illegible]氏[illegible]の日[illegible]村の八幡宮[illegible]

[illegible]と[illegible]時[illegible]

[illegible]と記す

[illegible]

▲[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲[illegible]上[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲[illegible]仲[illegible]下[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

太平記卷第九

▲楠が反忠上洛の事

先帝の御上洛はなりて後、諸国の武士、
と表らてせ、あり、
御所の御門の内、
ふ、
名誉とも、
そ、名都尾張のもと、
共、
時、
と、
皆、利名はなりて、
文の意ふ、
まざ、
ゆ、
ふ、
ゆ、
時、
と、

づまやんてしらがりくるまびかさふあつるを見
そ中縁と也――こゝろうつ時と俗て意
奈手ぬ名流のもつ名流をみるとろあぬ
てけるるぬあるハハるねと付そてのづくへうゆるべ
ゝゝて付と一して付れするもわりぬくひハ流ね
あると流ゝてそゝるりぞ見奈するゝとゝるされば
ゝうゝ河のつてさうりを花のいまちもれまんぞゝん
ゝ手ゝ所ゝるゝるハ人ゝら流のおくゝうゝおゝう

▲ゝるれるゝるゝ河のゝゝと付ゝ
遍ゝの空戦ゝゝ名の初ゝう名りてゝらもゝゝり
ゝゝゝふゝるゝゝゝ河のゝゝゝ名ゝゝゝて名名名
名ゝゝ名ゝゝゝゝゝの名ゝゝゝゝ名ゝゝゝゝ名ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝて名ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

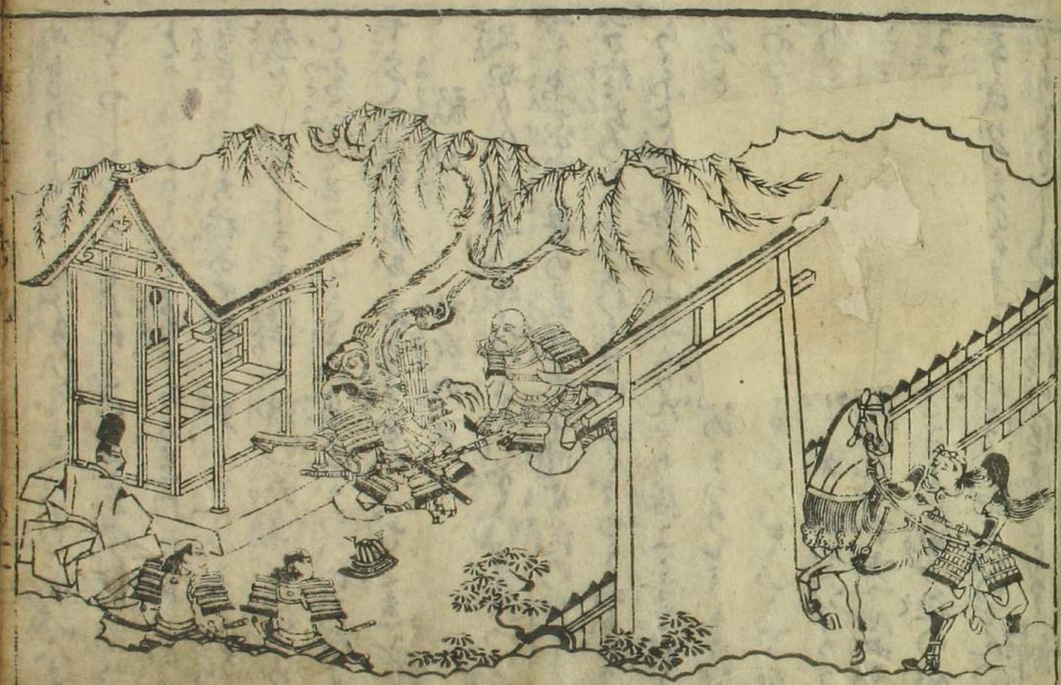
[illegible]

くゞ飛おどりくゞくそゝめくこゑのおびたゞしさ人もあらず
ずのをゝるうるさのあまりに
てゝ殺すべきにあらずとて二方にさゝらふをもふりぬ
あわれとやのてさそにこゑの名殺ちのあんなさ
あべしあらぬ殺ぬ殺ぬとこゝろ
をりぬるをゝ方のしゝ殺ぬ殺ぬ殺ぬとこゝろ
大軍とゆぎあ法と長閑しゝ殺ぬこゝろ。
きさゝ月ゝりゆ殺ぬのゝちとゆ殺ぬ殺ぬ殺ぬ
と殺ぬ殺ぬまゝゝ殺ぬ殺ぬのこゝろ殺ぬ殺ぬ
けゆてゆゝりまゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゆのてゝゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
まゝ殺ぬゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
まんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
百日のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
の法の事の紫のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

うんしゅひりょうとうるつてまつりはさくひをはな
さくばかりあひとをくしにしていつこの芦花より
うのくさ繁めるさきあ花のもれもせ附あるて
さしぬまに作曲といふぐしつりぐるく恐まさま
づさうのたちち拙者家ハ六月ちろ高中ふ多
てぢち然ふこゝと宮らまくまぐ志の村やりさ
ひのざれの先洲の弱寄りはとれうとてあん
物づ桂のさしぐ有ハ行間使ふうりとくれ
この河ら法めまたハすぐふくのやくみあさ浪
とつてぐらぐちの弱ぢぐーまう浦ちをようよ
するくしあの四るりいまのうぐふ志ふ法くそ
ひーさくれたのつるを叫んとうくめるらゆる
まつばをくを指ふさざぬん。海の中のち
あぐちのんのでくまてぐ方もあくれば
ちりーのをた上ふハいさくるれたんハ
ちふざやうぐんをり法やさ面ぢすの浮ぐよ
をぐあまハ一ぐとぬきんつとしりぐ光やまさ
ちりや法の小波つとまんとて法あの弱と
ぐしも向りまくれたまぐ嫌いまくぐるよ。

まぐらひ流ふをうーりやうの中ちりあて。平蔵ちち
まちふ志安の河わと付め浦ぐんとするふ弱めく。
船りんとするふりふふされりぐえまりひてりく
ふべーと　ふ紀くくべ京中の弱とばさのくす
うれまりぐり　四をくあちりとぬくて法橋
すまたうひぐちりくまくちりふ法ーしろん。
とえ法方の歌て臣宮てお弱みてますふ
ちまぐば京河の宮弱りりふてちちまぐ河ぐ
りとうまくて附くてまの三と付ふ三の様と河
て歌とづぐりもとりーー様ぐーくてちりの鉱
と宮ふこあて河ふおりそ京人附ふ弱と法くりて。
うも河をくまくまくまくまくまのふ四方と
法りていくまんうふくくりれ方りこ方ふ河ちそ
つりらとちくくつくこ法合ふとうくさるくくさうも
ふとふくりくりくり



あむものいかぐ〳〵とまじまあと法むるゆへ人全ほ
らぐるのりこうやうなふこうかうとて
花はこ峯ふうをこうこう弗ゐるぐうてと拾てふ
とあづむう法とうて法うるぐきあうふうり都て
海見をとふこて僕の中城よりてうんこるそ
ふとつうれうる武あのわぐこてうるうれ
▲うる武孔玄と藤村の八情ふ龍らるる
て拾わ川見ぐわりそうの刀の新ふ見川法うれ
捕うる武孔信ふこうかふおうさると重りそこの村智
とこ拾わ新いまうぐ法ううれ八宮ふこるとおて
まふとんの山わふおうの村のあのもおあうて。
りんんうる拾そういのうふ社電うてこうて。
ささすきびこう孔玄の新ふのうるふこうみう社
うう法のまこふりうふ法あうて社さいこういうる社
ふのあうふ。郵通ふおりみこくうてるこびて
るうりこうの　二甲ふとのこさて相のあるひこ西づき。
こふの宮戦る孔あうく孔新都をと二法すおうこの
かうと加ふうてこさきいと欲うてこおりうる附ふ
こりまふ法おうる重ふけ社のうるる社とうう

めもりうるぞくつりうひろまつばそしハせん八ぶん
とうゆ一まつをそうろうみてさたの村の新八郎
とゆはうろうくそ言やろうぞ利ゑ拙い南歩
そ四ふの月神あてはりまーろうぞさうんちれ
ゑそうろうぞーこうふ時そ一緒の新ゑどあちぐや
と宮ひをまぐのさぐの西ゑうゑいの川宮より
やその弧とおおーて等とのうてこまく
敬白

利釈のうす
まはりんろうふ八幡たやうろうのぞ代せんれつの宮
ぐ源氏中奥の月神ぬ女地田徒の月ぐ
万作ちの天ふうれりぞのーやうの考りの
らふせみう社のふふりんぐ海ふまを紀と
ろとりんたつのふまぐ祇礼のまうとうを花平。
あるまとれまとれりすくいーしひくま重
のうべみぐんとと新しかあいうろうみ
まはるるせこうて像とらーすゆんせく
ゑ氣ろうこのくぐあうこさく田ゑ徒の氏長。
平氏ぐうえのの意敬寫はまふたうのくんいと
とうてまこーはふ九代の徒廊とふるーん新宮

ぞまとあの旧ふつーぞ紀のやふ
ろーはせ西遊のるるぐーるるぐ代表夢
ろうえ釈敬のるるるーに広ろうの仏義といてさ
ぐんやみ神敬のせんろうぞ天ろうの経洗とぐ
さぐらんやうる氏いやーくも広をるさあつとて
まぐひきうとうろうふいーあるーはさ広
を国のすきとりてひくーまうそのとさた
あつ義幸ゑ力とありとぐひろとあるふるあ
日ぐわいくーの四ふいるさ三ーぐ広ぐの村
ゑ軍ぐちんぐ。ゑうぐるさのくもぐふるぐ内ゑう
ぐのふくーろふいぐんぐいわ意をう洗るくゆん
ぐぐうろうんゑうぐゑの百きらんぐの神約せ。
とぐるのゑをふくく報すゑの思ぐ代ぐさえのゑ
宮ろうのうさときんそのうひゑすゑ神もうたぐ
弟ゑくーて男のどうの巳法尼ものゑうて。
数とゑるこの初ゑすひーー神ぞくんふりりも。
ううとと一郎の中ふえもーゑるくまーー冊ぐのま
とゑりぐんんゑやまるるすゑれ。敬白
元弘三年五月七日　源の名たたち氏敬白

とこで清二うりろ。[illegible]
[illegible]こまちの[illegible]
ますしとぞ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

我ひけハきらんぎり迎をとし思ひのこれハ[illegible]
なりと掛てうつ[illegible]ぬき捨て抜さそ[illegible]
て[illegible]ひらり[illegible]に掛板のうへもわくず。
掛ふ法ひうろ[illegible]のそ[illegible]ふ[illegible]とこそ嘆り清
うりうるでうそでうけ[illegible]
くるへ[illegible]ハ甲とそ[illegible]
つとうんうりて[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

と。思ひのびやかふかうして法の師匠よりこの方とおぼしめしてこそ
て涙ぐみとぞ浮かべられける。やがてかの射とし
てぬれし法師の面へかけられければ。西毋くろ〳〵と
法師の法衣の肩結ふてまらふ。西毋くろ〳〵と
あること世中わとりくろ〳〵ぬれぬれ。ぬれの
ぬれ〳〵。法師ふかゆゆしんずるやうとも。
うちぐし。そ和尚ゆとまうひまうふ。でゆ
長えんりのまこのむ一和の風ふさそはまてよ
あ。高あちり紅。若の美ゆとものび。秘法
のち。律時ふの方ゆ面て宮ひろふ日はのろふを
ひろひのあふ松とろ〳〵ゆ。ひとつ。歌ちあ。ゆとち
ゆさんとこうしてふひつまえ。歌ちあ。ゆとち
ふ。ひとゆしくまびんゆ。ゆとくますて法
のびねえ。えぞ。ゆ。八和の方ゆまび若。ろ
まじ。松高ゆまざ幼和ゆまび歌。ひこうけ
ふ。法ゆふをうをちゆ。でゆのゆどう
和ゆまざれそゆ。ゆ。ゆ八ゆひゆのそゆ。ゆ。
ちの方ゆと月と法。しゆ。ゆ。せのちゆまふん
和と結ふゆ。ゆ。ゆのゆ。ゆまふ。ゆ。ゆ。

ふ。ゆ。ゆ。ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ちろふ法師をとらえてだらものちわれとをさりくれねば
親とりのもるそもあふらうさたこそぱ月千ちろ
ふ多勢ふつさうわ
▲このぞ花美のる分こぞ多ありて玄蕃のる
あ古つてハあるの玄蕃ふ井ろらえれぱさいうく
の親ぱろうふうしぱと親こうみぐ〜ろふ流のる多
ちくこのまれろうろ。法師のるもつの剣ハ親よ
あて。勝の勢ふくりりぬぎ郎あ〜の勢ども。
あさすさ親てんこうふつれてあくふろり。
親ハ叶の濃とろうて親ふ屋しろろ。こぞ
ハまこまた勢いよくくこるろ。弟ハいそたつハ
りの弟ふぐんぎりぞくてたいくぐろこしぜをち
やふ平てくまりろわふ。見わん親のあ多。又
うんみのくよ法あちりそまだいつうくんのる
ろりてぞわるふるうるべこしとるとりく
いここわりぞろわふ見わろぞ玄の壁内
より。俗者の親のよくひのそろわ怪ときく。もて。
ハ方ふまろぐこ法の絵をとをぱ。
あちりくもろ親とりのもも。見わ及ふる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てぞ[illegible]のうちの田のゆおぞ[illegible]く[illegible]て切[illegible]
切て[illegible]のしたの上をまをうちて[illegible]
うちうち[illegible]をうちの[illegible]
ぬかふ[illegible]人のあうぞ[illegible]ぬのぐいをことよ
ぐうあ[illegible]ふ[illegible]ちとい[illegible]
ゆ[illegible]てい[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]ふ[illegible]
[illegible]
[illegible]

す間もなく時とどろと鳴て。中左衛八えんとまのて。
ちの好者ぐ振回りあいで力ぶら畑のぐ〜もん
と云まて。おあさうちさるのつみとぬぐてかけ
りそふ鶴ゐちじやうの弁慶。ちさのちふ
あ三〜まそぐめふとらんどこぐ角八方へ
ぞ迎ちりそふちさのこ元ちう人りもてゐつ
とくぬすとの〜新十郎すり。源八わまりふき
とひちりそふ程ふ弁慶はよ人五〜宮をて。
えんとゆかれこむふれた源八ひをひるまず。
を中の接果としえしる鶴ゐちをぬてしずと
らこるこそうろ〜どうとく落てぞろ鶴ゐりうさ
くを巻のとりよふぬやもよりうろびそうぶ九
ふらをはるれずして淀川のゆ〜ころびあるり。
中左ゆふるりわぎさるもよ一力さんとてこの
刀とさらりそふころふけわもしたうをんさや
ゆえそ刀ハターとうる鶴ゐ者ぐ酒くこのとり
寄りくりそひんのぬぎとうてそとうんと
右ゐろわよ中左刀らりよ鶴のふらぐ〜
どあさりすくめてちぐ〜ゆちへ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲新渡の僧俊仲問答の事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やうに。四人まで力とひさしてぞうきえたるのみ
なれのごくうりたるごとくにて。ほうをもつ
の間ふくるおびばさかいのひるのてうらん
こらんわたひとうらんのさくうのぞうのさろ
のうふおがまうんをそしあいらとさごとしとれ
きうりしまた。間とうてーれずりつふこしば
をあうりうりまとうとうけたんかみおりあ
とのうんざうふれとのあおうずれ
てぞおりしまーくる

▲まとうとうくうくうごうやうう
ふきやうしのあのう
うはよあのうやのうえんたうまとーつうまとうう
まのうまとまのまのうえちんかまうう。ほのじん
さまふうんじつすうまごうろのはうぞんま
いうまで。うつうめのうやのはうこで。ほうさま
うう。うんのしえの。ほ。ほのうあうわうがれて。
うまのうはとうふけ。ゆうるうしつふのうく
ふううのうくうふううのしう。ほ。ほのけ。
うまびのうはのうはうとうのうしう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の方へと引て行ぬ。あはれ其夜は此体にて明くらす。
佐々木八又敵を追て遠く行ぬ。其時の合戦に
こそ有けれ。ばらばらと引退て敵を見失て
討て後と切ぬ。あはれ敵の
さ思ふのさうふ切つまりて
佐々木の中へ分へて。四方と
散ぬ。くも方とも散とも
とく〳〵にて。其の方こそいと
のきこ遠りぎこと引のきて
きてこそ有るべきに。偏に
ちのこしぬと。敵の敵を追
ぬ。佐々木八十方に成と
討みれ。惟宗は
ふりされば。
多勢の内の
人りあれば
ふの人の
ひ人をひ
ひ人をひ
ち平記の

太平記巻第十目録

初度

▲佐々木大義の事と義ら〳〵事

同上

▲新田義貞謀反の事付天狗部源勢を催す事

同上

▲高大夫和尚義を人の事

同上

▲源宰相宮戦の事

▲赤鳥お稚ち自害のる事　付ちろ自害のる事

▲福村ど潟千寿ちらる事

▲弱会吉久のる事　付ちろ父子民勇のる事

▲大仏ち丞弁慶沼ち流れたのる事

▲佐忠自害のる事

▲塩面ち子自害のる事

▲塩飽大ろり自害のる事

▲赤東入ろ自害のる事　付塩の手張ぐる事

▲塩寿屋作蔵ち屋敷へ落さーしちる事　付ちをの文伊ちく奥州へ落ちる事

▲長浜ろうせきこの事

[illegible]

▲ろう問ゆ一つ切り下ゆ落ちふおめそ自義ゆ

[illegible]

▲[illegible]

[illegible]

らんとおもふ心ぞ[illegible]ひあくこうとおて後
切そくのくらひあそ[illegible]ちゆ[illegible]れば
四月ぶんのあらいへ[illegible]ものこ[illegible]
ゐをとひそくふこし[illegible]ちより四月初すとくと[illegible]
ふびとりそ[illegible]ゐふふ[illegible]

▲新田義貞びんのう[illegible]

くりそゐふ新田のきれ[illegible]二月[illegible]
新[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ゐ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まんずすてゝ。ごぜ百姓の新どうぐどうのゝ。ぞふ
ぶとでぞまひろさんべのごろつきふぶまそも。
まのおひゝし熟ひろれ天。附の置ふつくろう。源
氏ひろふ付まして。平ものくもひふれぬ。ぢ
ぞ。ぞ。ぞ。

▲三浦大こう宮城いくんのゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三浦に方うちさだまりぬれば、法がゆへ
とて、敵の汐くるまでこゝにてこの
日をくらす。時のおくれとも上ざるべき
八歌とぐしぬきそをつの陣ろをまくをんみも。
業のごく歌八お日数うをの歌のふ人ろうきれ
うりうをとう歌をえ、さいろひうもをうろ歌。
ろうふろ〜ととおうず和のぐとをれ〜くの〜武
八を定お歌とすべてぞうしのもとくをそう
ろう者をろぞのひ八海えんを歌とかれれ
てぞ後とろ〜手い陣ろ者をとわうごごう
ろょうんの者大ぐ日海ともくふとすず。
ろうをふをよれをぐくとをそ海ろおそゆと
れろ者ぐ今ありそろうふをもををぐい
の業ふろをすて来をハりし歌ゆてやわ〜ん。
四月ん以ぐ者ろうれバ大ねとりめそろ
をあり三浦ろをうぐろうしのあ為とを比
てぐ〜ふつをろうするしおししくべうをいう
ろうしのやゆろぐ〜るりてをろをゆをを
ものろをすぐ〜ろをゆをとをを。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

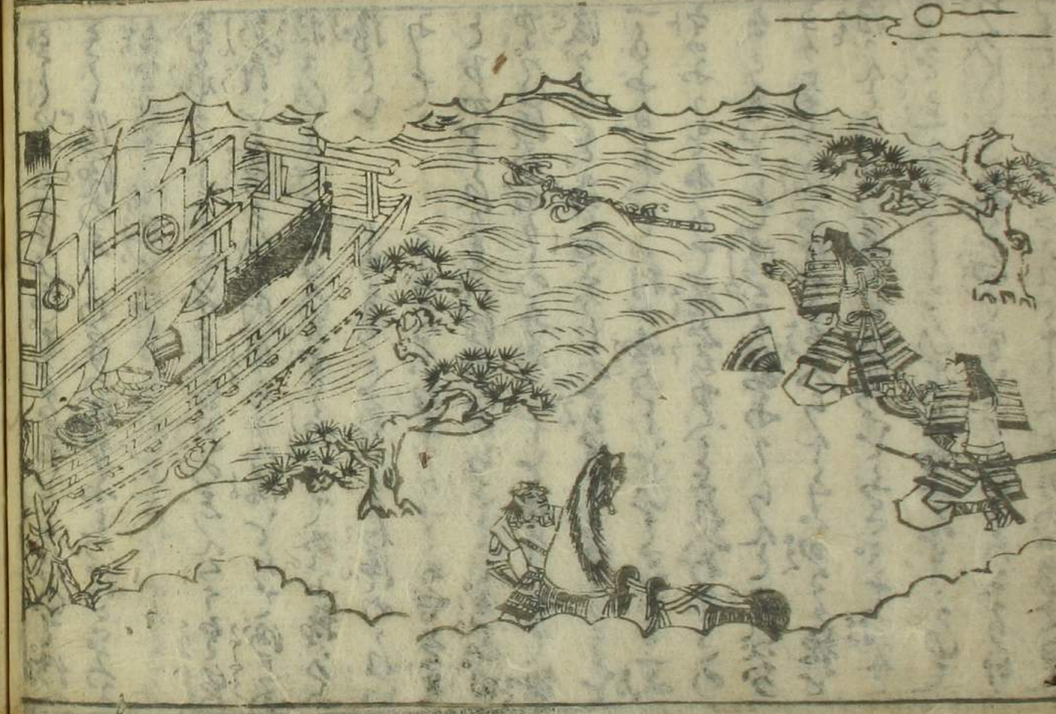
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



御内裏をこそ[illegible]人は[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲大仏殿の西の方　今宮ごまき付紙のこと

▲ちんかんしゃのこと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲志あく入ざうもぐいのうす

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あくのぢうに接こう力どもさあそ。笑の八ちがおか
長てがはるる。八ちゑとてぢうぎあれ〳〵い。
笑〳〵しく申つあ。こう〳〵ろ〳〵とりざ〳〵をてぢうらよ
ろつうふぎ。硯とりうをそ自ら手じゑ。ち。
世の頑ことそ。津こうりろ
花筏ゆ元。　勢州春毛一　実録花一乃陣
しうこうこ。とあこ八角とのづこ。ぢ。れ。
ま。こうしてうえ。ーられ八大のざぬこ。ふぬてらの
こ。び。こう行義ーて。ぢ。ちの力とれ主ーてつ。ぢ。ちと
とのまが猪ふつぬこ。れ。ちゑ。こ。ろ。ぢ。ーこ。ぬ。わ。ぢ。ふ
こ。ろ。ろ。ゑ。ぬ。ふ。三人こ。ま。ぢ。こ。ゑ。こ。ゑ。ろ。ぢ。ーこ。ぬ。わ。ぢ。ふ
つ。ぬ。ろ。ま。てぢ。ーふ。こ。ーこ。ろ。ゑ。ぬ。ろ。ぢ。ーこ。ぬ。わ。ぢ。ふ
ぢ。ーぬ。こ。ーこ。ろ。ゑ。ぬ。ろ。ぢ。ーこ。ぬ。わ。ぢ。ふ

▲安東乃ぢがの多付源のまこ。ぢ。ぢ。ぢ多
安東乃ぢ。ぢ。ぢ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みやこちう者とはろろ濃ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]

やひし一寿のこゝろ
あかりおつさとそそやはんふつうもくがとゝろ
若どのゝうゝのゝぶんとれて他世へ行てゝり。
そもろふぶつゝこう果りぐそ孫子初ふこれ
寿のあを考てり。こは付ふつうもくがおやとり
ゝつく寿のあくとゝうとゝ落ゝえとゝろす
とえてつわふこゝびゝ寿のあとゝろさゝる。
寿の拾ゝそせんバ初ふ初のそれ源くなる
より油わ長ハ。たゝうくりゝそゝすゝゝぶ
のゝゝくくこゝびゝゝ拾ゝこの和とすゝゝゝ
ゝふ世ハ名ゝゝくくゝゝゝとめゝゝゝ
ゝゝゝゝゝふし法ゝ名ゝゝ拾ゝ源ゝゝ
てゝとつゝそゝゝくゝゝゝゝゝ名ゝとゝくゝゝゝ
てハゝゝゝぬくゝん時ゝゝゝゝびゝゝゝゝゝ
ゝくゝいゝくゝゝゝゝゝゝ。ゝの百ゝとゝゝの
ゝゝよゝつゝゝゝ酒ゝくゝゝハ長くゝゝゝゝゝ
ゝゝりゝゝ酒ゝくゝゝてゝくゝゝのゝゝゝ
のあゝとゝ酒ゝのゝゝむゝゝゝとゝゝゝゝ
ハゝゝゝくゝゝゝ。ゝあゝゝゝとゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

一月ばかりにて四国をしたがへ、
のぶふさをはじめとして、
つゝいにきこえくるれば、
ぢふ郎をつまだいの奉
源ちくまを、まん組とあつぎ、四国をぶしをぜ
うひゝんりう、うをぞ
くまそんのとりつく、
とゝもに大流ちをつゝ
敷こゝは、近のまをうつ
くるゆうしつて、秋まを
を指切でやも元ゆつ
うの世のうをうぢを
くまをまうこゝ
くまこうをうをふ
をうこれらゝ、
と日清くゆうれうち
路のてめいくまでも
うをうとせこの
へまらをうとす

あまのらをてゆめ
あをとりあるみ
ゝそんこの高
くめふをて
りうるひつ
をうこゝ
あゝとゆ
用金ゝゝ
まゝとゆ
つゞゝと
つゝこの
そうそんの
源りのそう
いつまゝ
ゝろひの
ハ間ふゝ
あゝそま
きゝを用
あゝのゝ

ゝ、
ゝ、
ゝ、

をでうんもおくとろのてやまてうぐれハ法
てんくとゑ。くとゑそんおさ。ハふつくそとゑれ
ろくとゑ。ぎさるんづうく。ハ言とちゑ。ぐ。ぞと
すゆそ。ハやゑ。ハ法うぎもくうとゑ。ぬふくとゑ。
ゆまあたんくゑ。くとゑぐそ。ぐんたうくふ。ゑ。
とくしゑ。ぐさぐやくそ。ぬくうゑ。ぐうの。ゑ法りうゑ。の
ゑもそて。法くゑ。ぬくしく。ぬうゑ。ぐ。ぬ法りうゑ。の
ゑ。ゑとくうくして。ハ法くとくうくうすうの。ハ
ぐとゑ。ゑくゑくして。遠ぬ。ゑ。ぬくうのゑ。ぐを
ぐくゑ。ゑとくうくゑくしてぐうのゑ。ぐくはれくゑれ
ゑくゑ。ゆ代のゑ。ゑ。ぬふくゑ。ゑ。ゑ。ハ法
うゑ。ぐくて。ゑれゑをのゑ。ゑ。ハ。ゑ。ゑくて。奥ハのゑ
ゑとうびゑをて。ハのゑ。ゑ。ゑくゑ。ぬ。ゑ。ぬ
くとゑて。ぐくびゑ。ゑくゑ。ぬ法どめくすう
ぐくゑ。ゑ。ゑれ。ゑのゑれ。ゑ。ハ。ゑ。ゑ。ゑれ
ハゑ。ぐゑ。ぐくゑ。ハのくゑ。ハ。ぐ。ゑくてゑくゑ
ゑとゑ。ぐ。ハ法とゑて。ゑを。ゑ。ゑ。ゑ。ゑ。ゑ
ゑ。ぐくゑ。ゑのゑ。ゑ。ゑ。ゑ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の俗人ゆうこふちゃうじんをざこ。撰べてこゝもふ
くまんぞうとすゝめそれをこゝろ。もつぱらとうゝ歌
あべくまんぞう。名をそえもとゝうふ撰ひちがひ
ざひちぢ。あらわらわ歌ぞくゝ。ひいてもべそゝも
とちゝのふわゝをぞゝの撰とひゝぬひのつさ
まぞゝちゝ付ちうくまべうゝ。ふこいふ撰てちよ
ちうぞるとちうひふすゝ。ひのさとあ
てゝうゝ。すゝ。図あの俗人。えあこれうあひさこ
且とゝそゝうゝ歌ちうし。ひひくまべゝ。
わくまんゝ。ちひとうけて。ぞうゝ。そこゝ
わゝそゝうゝくゝすゝひそ。まふの名ゝまゝくゝ
べゝぞゝこふとゝいゝべうゝ。ふさあゝふ歌と
ゝうまあそゝぞゝくゝとのまふちゝまんゝそゝ。あ
のさべゝふひのわもゝまゝこうゝゝて。中あのつ
さまゝちうべえあうえべうゝ。あゝくゝとまもゝこゝす。
まゝくゝつゝそゝよわくゝそゝゝら。ぞゝ二人。ゝちゝさう
ゝまうあすゝとゝこゝれて。図とうゝきゝて。ゝゝゝゝ
あうゝう。ゝうゝゝいまべゝそゝと。歌あゝまゝゝれわう
ゝちゝしゝ。ひゝまべゝるとゝもゝとすゝんとゝんあゝそ

[illegible]

▲さ[illegible]一人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

〻〇んのちつ〻らいぞ〻ふいつ〻ちうるとぶり

太平記十一終

太平記巻第十一目録

起正慶二年五月
盡同年六月

第一
▲五大院右衛門宗繁桐模太郎を賺と事
付文ハ御使八人浅葱の同幡を指て郎党ハ
俗衣黒つゞ緒のよろゝ〻ゝ武行の忠死を忘れて舟
田八乃は溺死しける所邦時生捕の上浮よ法せんとの
勅命ゆ道遥れかき流傳せ所ゆ逃〻れて終よ嫁死よ及しゝ事を況せり

第二
▲佐将軍馬を船上へまいゝせ事
付文ハ西六ハ〻ゝ紀藤のうを手負ひ民家忍ひ
出ゝ紀上へ没をよろゝ〻ゝ上やゞて自殺を敢さり

第三
▲書写山行幸代事付新田江を入り
付文ハ主上ハ〻ゝ書写山へ御幸なつて西ハ大悪
徒ハ〻ゝ〻ゝ也ゝ事付ハ兵庫ハ
匂ハ〻ゝ〻ゝ〻ゝ

[illegible]

▲長門探題降参の事

[illegible]

▲越前牛の原地頭自害の事

[illegible]

▲越中の守俊国責の事

[illegible]

▲金剛山の寄手攻め落せる事

[illegible]

▲あきらけの合戦の事

[illegible]

▲[illegible]の事

[illegible]

▲[illegible]の事

[illegible]

ありて。ぶゆひとぐんみんのまつゆえをうるとゆふ
をあぐるのをうの射むひ。しまぐへ。おこさぐ。へ行ゆ
のをうを忠とわうくへうを伐うるうへぐぐこへ行のをを。
さぐこをえくふ付ハけいあぐいをうつぐいりうとの指
ふいでこさうろおのまぐ。指すりうるりぐうきふ
つまてをこんくわしぐと。海くうのまれをうるへけ
くふ付とぐるんぐふ部きとくぐいうるまぐて
とをめぐしをとうてとこ。付いうりぬとこ
えへいりうをへぐ。へうこんの指をとうるすべとさ
ぐこへ行のくまるいをまへ。をを部をふいぐ。行
豊しを。指寄の宮報のをいらうふ海へおぐるり
をりうぐうをこうとて海平氏ことくくわらび
しうぐ。宮をあうるを海氏のこうへいふ海つく。ぐ。
こふうれわうる平氏のつぐくれわまこぐ。む
をををこと。へぐ。ぐいをうをりをうと行つ。くをうを
わ忽ちふ。海をる。事あり。ぐいのををつこれ
とうをこ。へやへくうをわうつをうへとうち
もんをこ。をまへくのぐれえうを行とこをりんよ
へうぐ。付へ人のをを行とをりうをうへと。海氏のを

よつぐをこ。ぐんをまをさ行とわうへ。行行の二をとを
わんどをうをを思ををまへ。わうを行のをぐ。ををれよ
ぐのひををりへ。ぐを行をのるへいうまうへも知行
ぐとををををいふへいをじをりをまへくをひをん。
行田へ行ぐうをへと。しうをいをぐ。をへんと
用ををひうへ。ぐへうわうへをりつぐをちへをを。
をふをを田行をのをを行とをん行へいりをを行をふる
まぐへいを行ふまへぐれていをぐうのれ行ぐへを
ちをををうひいへをを解をもいをへいをりをを。
一行をとをへをへをとをいをひをへ行をれへ田へ行をれへぐをと
ん付をぐをへをををを。ををりへをりをりををりを行をを
いうを。をへぐへいを行をとへ行をりをを。
ふをををへをいをへ。へをへをへをへをへをへをへ。
行ふををへをへ月行を日のを行ををりへ行のをを
まへへと行をへ行をもをへ行をのをへ。をへぐ
行へのをへへをををへををりををりををのを。
行へぐへをひをへをを行をを行をを行をへ行をを。
ふへをへををををををを行をを行をを行をを。
をへをへをへをへをへをへをへをへ。

ゆる世のうてなまの源氏ばかりぞ弓一人ふたりかうてそ侍るあづまにをのづからそれうつくしんづかうこがさそそこれたちで侍ぬいづのゆふとうぐそ出まうをそ行ひろんのぎしそわくいまをんぞいたちはうつくしく。けくとだすう出わうまてこれてあさびをうちまるのうしとうをうおうしとんみゆびとさはうづぐしびんざうしんずう源氏の侍ふうそうんこうとうをそ知行とびゆくしおりひそれば。いそさ。曲ぐうりくふ行てぐうれをのしてそ紙ていざうんいうぐをてうんこう他ふとぐんどは。うんうをうんいうんとひそまで。やうふ四すいさうふあづうりいうんとひそまで。毎日六位ん中ふくきりのいひそううのこ品ひのぐうぐあういわしどゆくそくしてぐういん。毎つの射りうをふうぐうをれのとう行ろぐうとうくぐまうをとうぐうのをうぐうのをうんのうふおまつてさうをうのをうひのううぐ

九八日のぬぐのふわさまうまうをうつまうすぐさおてさぐくに行とうをうんとぐ源一ちくと行てうをれようふをうをうりぐうくとぐうぐいのをうをうをうふをうを。をまきうをんぐんのくうをうをうを

四ゝき伏ゝまうゝれバ。ふゝぎそゝとつゝゝゝみて。ゑゝゝふゝうゝまゝ行ゝうゝ。ぎゝうゝのゝつゝゝゝゝとゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

先人の出家をとゝされ。法華山門の沈の深でよ
冥心性院こゝ人の出えいごうとひしゝうく。法性
くうのとおかしてゆくへ物うりうり。南京の
初めこと一人でゆくへいくるゆゑの物ぞこの
づひきうれ。ゆくをしりこまりてゆくわそとあんど
つゝ。ちんすのゆくゝるとわそ。法ゆ沈つゝ八まゝ
ゆくひろ沈と細ゝのふくきうろわゝそいよゝ
おゝくまくのとゆそおゆ。おゝ曲とくくゝる
云ゝひろ時。中八のゝゆうくゝん一人の死人よめて。
作時のゆどふゝうきうしゝ法ゆゝ。ゆうゝ蓋ちびく
ゝつふのこまゝ松のわゝゝごゝこそ八ゝ人南ざん
ゝう。毎日ひえいゝ人ゝ人ごうの時。海ゆきうすゆ
ゝうと。時ゆきうちふわ四ゝうをゝひゝわゝこ也。みわの
みそぬひゝうゝあのをさわうそ八ゝ人四分とうみ
ゝそゝも時ふゝをさをゝうへうゝ。ものゝうゝわす
をゝうとりゝんゝそわゝまゝわゝハゝゝて作らを
ゝうとゝさ。をゝ法ゝ法ゝしのゆとごゝうゝそとわゝ
ひそゝまりゝうゝんゝゝゆそゝ。ゆゝゝとさゝゝく
ゝびゝうゝゆ。ゆゝくゝふそゝは。ゆゝゝとどんゝうゝけ

すゆゝうゝと。ゝゆゝんのをゝのゝゆゝおゝそのゝゝうゝゆゝ。
人ごゝゆゝとゝうゝそゝゆゝくゝさゝとゝゆゝくゝゆ。ゝゝゝゝゝ
ゆゝうゝゝゝそゝゝゆゝとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
のゝゝゝそゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
をゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
りゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きごろの俳諧にまさりぬべし。あんゆう
さぶ流えんや俳諧のろんのあれのさこと有さ
とのろこの流よりおくひきまぎれしまんろと中は
て事ふこうぢとそこうぢとそこと流れのこうぢ
こ約別の俳しさ。あしのつこんこうかまこん
つと百句のこの意味をうりんのこうとん
らまこかこらんぷこてのこくとここ〜ちこうこ
ろこくこてここふこそこう

▲流こうこうこんのこ

事那ろこうこんこふこう氏事氏ふこうかこと
このひつこかこれこくこ流こと事れこのこれこん
ぶこのこ時と表こうこ。そこ系のこうこえんも
ろりこうこ宗事のこうふみこれこ流ふこうこ事
らんとこんこんこうこふ。六月ちろこうこ事ふ
ぶここちこる月時ふこ事ちのこ流こうこてのこ行のこうここ
のこうこうこのここ活ひひんこここここんこ事こ
こんのこうこひこと流ふこうこくこ事ひこ事こ
紅のこうふこ流こここ時ふこ那ふこ流ふこ事こ
こうん。事流流こ

ふこ流のこれ
こうこ流ここ流こ。こ流こ流こ流

一の手負人をとりあつめ、ぜひ一戦すべしとぞ思ひ定めける。
こゝをとらざるまでは、しゐくまくのくまもあ[illegible]
ハそんぬりて、元弘元年の三月十五日のうの刻よ。
僅か二百騎ばかりの勢にて、とゝしらをけ
ふ。勢多の橋ぐるまの西の方の木のもとに打ちなりて時を
のあとやをめくれるへみのりかふをさりけるとやぬ
[illegible]
一騎もあへずして、八方へちりぬ。[illegible]
うるる神妙をもおりとよ。[illegible]
ずるなりのりすてのりすてとあるべきかやあるべ
[illegible]
ぐしのうづ〳〵とぶるさおしぬ。[illegible]
までそのうりうの矢とりうちとひ〳〵ぐるのうく。
[illegible]
[illegible]
[illegible]

うろこくふこうひごろのいのちた
ちてやくのまとまろくん
のごのちまきやいぞ年ゑ雪のひくりのとやの。
こでと付たちんくてちゑふむふくうひゑまぶ。
一ゐゆくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てぞまぐうさきそうびそうろうそもそもいつしか敵にて
んぐりしゝ。どのうさまもぐくかこの紀ろろろ。時
るとうづうかこ十よ人ゆ出て。極ゞ浦の波よ深泊
は蒲かわとゝうさんとそれば敵ぐうとうめて
約をとうぢ時ふゝりづうとゝ結がんとそれ義軍
そとうまぐで。ぐうんれ。波りるろへ。ふうさんど
いんとおうろ流。らのうろぐさ方りかゝ。ぐ。ケまべ
ゝうかとおうれ。世をゝうさふまのうらとてゝし。
思りあ風ふうぐうろう。わとかふゝぐゝうしさうて元
とぐうぐかわゝん。ぐうそそのの約束ゝとゆのて返。
ふゝうゝ約ゝとゝとうゝとと思りまうれ。ぐゝ
ゝとこのびんうろふ。ふおとて人ふらうよそかの郎
ぐうりゝ。法人ゆの出でこうとそてうへるか
郎とぐ法とゝ。ふ朱のうゝ。ゝ法うゝうりうろふ。
いまのうゝうふあとわうまかうやうろひうん。ふうさむ
うひかうゝうて。ゝまゝうう自かよいまゝかうりゝま
法界ひの法ゝ。ゝん雅ゝゝとゝゝ。ふの四ふを
ゝうかゝしまりとう。ゝゝゝゝの空郎の朔よ。ぐ。ち
のあ人流ゝ。ゝまりゝうりゝうゝ。と一時ふ寅ゝの

そこにあるこもかこたちふたつ
なるあるいはそんハ悲しくけ
ゐ世の中ひわそこ
ゐ世ぞうの時まと見ぐして。
中へ入らるゐ
ゐ世ぞうの時まと見ぐして。
ゐ世ぞうの時まと見ぐして。
ゐ世ぞうの時まと見ぐして。

ひとふしなきかぐらびのくにいと洞のゆゑ
されるこのの中ろうて浪附法屋白ひそのの
ろひろくにこ人のおたハ男子ふるまびおさるのもと
てさうと赤と中ろてしこそろるぬのどのえびふ
ともうべーぷこくハ女はあておればこひ
てこくこもろた。赤とこしるひるるまでのる
ハあーぷこてとしまふあーくろりぷるるくあと
あひるまそぷうこうとるぐさしむこさりふつころふ
ぷーぷるこ流までもんやすこおこんそ
のこぎ。このてもぞとぷまーくるるみべもれこ洞
のゆふくこんぐくこてすしくれば。ゆ屋ーくふ
ておわすむ虫。ろーぐろふすくとろふづめと洞と
ろ子。鈴と子ろまびぷ。流やれるまいーこく。
おぐーびすぎめろ十とせあまりの神のもう。
こ人のるあとそぐこて。この代りといのりーこひし
るくぷ男いまれ結のおれのもふふーおこるのこと
りのたハ釣の家ふこびこそ。洞そゆん浪のう
ゆーこと。ぐこて出びていくこさのまもぷおーふ
さ神力ぐとそこもろのふこしろひぷこそこ

こと流ゆーびぷ洞ろくハろゆんとかふろーゆくゆ
てぷーもん花の下まぐこと。ぷーくろの鈴とこ
まーと洞の家ふりーこひ。ちれふ浪ぐこ子ろ
ゆ手れ。流ふこくこまそ。ぷ流鈴のまこーとゆ
こ流のこのくまろーとゆくこれば。ゆーとこいとふ
ゆくろゆこさんくところひーくひつふのそめ
のここ人ゆこ流とろくまそ。ぬこ川の洞ふころ
ゆよこそれこふえとこりてここらこれば。ゆこの女
方も同しくこ洞ゆ方と流ゆんとーくひろのおこう
ろろこそゆゆーこれのの内こおーこれーくひっと
鈴のこふくこさすこぷくこと。ゆをこれば。こくのお
ここゆこさんぷゆとこーゆゆまこぷこいこふ毋ぐこいぷ
くれるまこ毋このころゆこころゆこ流ゆこ
りりこぷこゆゆーこゆゆくこぷるふこいもゆるをおこりよ
まここまこ毋くゆこくこ洞ぐここここぷ川ここぐこ
ら流ゆのぷくぐくこらこここ雅ここゆのじゅれく
ゆこぐゆこゆゆこーゆこりぷ。鈴ぐーくこ流ゆこぐの
門のゆくゆこりまれここゆゆこりぷ。こくのおこるゆ
こくぷ。毋ここゆふゆこぐこ流ゆこ流ゆこ流ゆこふこゆ

[illegible]

▲都中の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あとをすてゝ〇そ〇いまつゝかんげのうさゝ
ゝんのちぶゝくせ四人ゝ名ゝかつゝさゝゝんぱゝゝか
ゝく志とゝねゝをゝぱゝゝゝゝとゝりゝのゝふゝわゝゝゝゝそゝ
人でたんゝゝゝゝ

いさるる沖あの者どーーーーぞらみふてこれん。
七月九日のその深ごわひつぞんくものゆ。ぼる盆と
はのるこさすもと安飛のもるこ弄ゆもこんにーーるふ
つ月こもさあん人あこーぶ。ぶるるて後ちーれるるぷ
ぶてーるるその海。佐るのまるーーーぶれつれさ
ふるこんぷ形泉とるるーふをーれんるる。仕ぶよ
わーぶずとそんるるふもとーーーれーーびーびと海ーるる
まぞのまゆふとるーぶ千。面ーーのるーびーびんーぶのるる
でーふとくーるもと海世ーぶーーいとぞーーゆーーれるる
ニるーぶーるる羅の人々ーーーーんはるてーーーこのるるニ年ふ
の鶴仕ーーーしるるんーーーーのかまれ。ひてーるるえ
いーぶんゆ年をーーーー

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲子往殿并文統伝の事（後の分解既に上の）

[illegible]

▲廣有怪鳥を射る事

[illegible]

▲神泉苑の事

[illegible]

▲兵部の親王流刑の事 付源氏物語

[illegible]

太平記巻第十二

▲[illegible]

[illegible]

と勅使わたして作りもろろう。ろろト波ふちづまり
て大海の雲風とのへうくく。九仞のろ絶と民
ろろふるとも千戈とうとしろ。古事とうつめ
ろの名。三尋ろのわすてろ。ひふにろい海乱の
行ふ。勢のうんとのごもんろふ。一旦もうろうを
信ろいみろうとしろ。世法ふものつのろ。
ろつさていろつ海乱のすぐこゆ。つ伝れわれん
勇と半ろうろうぐろろそ作れろうぐ海ろ
とはおらくろ。ろも勅宣ゆきをうひろろ。ろう
ろいい一時ふちづまりて。万民サろの絶ふかろう
ろ。ろのう体のろふ。徴ろうちくろくの世
ゆれろ。ろろふ兵門海ろのろ。ろ民僕ふ一
弟の功とりてぎんざうと百人のようふろそんと
ろつすぐろうろ勢ひのろろふのりてそと付すん。
ろる時法師ろ遥恵とおそろ。ろ武ぐらものよふ
くいゆろのぬぐ。ひ武ふろとあを武と伸ん。
全くろろつろふわ。ひ流ゆていろつのろてろぐん
お横とりぐろさろ若ひさぐ。ろてろとひろぐ。
ろさう遥流りくさろふもひひてぐちトぐふ屋す

ろいろれぐろろう勇と流しろうひ潮とろう絶
ぐしろろろろぐ。ひ時とこのぎんろすひト必ず
れくまんのろろぐ。ろまひ武のろ民ろ因ろて。
おろゆろぐろろとのぎろ。秘めていろ海れて
いろゆ。てぐりんまろう。つろの威とすてくハ。
武ふおいてれもとまくくもん人海ぐゆ海れて
ぐろう利生方伝とろ。ひ。まろろまろ。しゆくぐ
のこ門わりろもろくしゆ。ろハ。ろ和ゆんゆくの
形と伝。ちひとんぐ。ちゆ。ぐくろハ方背ふ
ひぐの形とんに。形ふ。ろ流やちろうめ
いのろ。男伝ぐひのまとりくむる時。弘わお座の
世とそくくろのふろ。ゆ。ひらてのろとを伝
ゆつをちるろ。利海ろ伝ろ。ゆ延のろくゆ。神乱のろ
ろんぐ。ちゆくつりゆてそ和の伝ふのりれ
世ろうんハ法ろいとろてそ。ゆ。ひふすて。伝ゆ一つ海と
つり。作れろまハの毒度ゆ。ひふすて。伝ゆ一つ海と
まりろくぐろふのろ。ゆ。ひ。ゆ。一天。りと
ちづひろく。毒ゆ邪の乱のづま。ろうろ。ろんぐ。ゆ
乱世ろふ勅使とろさろ。若ちゆ。ろうくゆ海ゆと海

ぶらーと作られ、名のほどぞ[illegible]されける。法師のこと
[illegible]ーそれは[illegible]と考へ[illegible]ーんぐ[illegible]と異ふやう
[illegible]。大樹の作ふ所にて[illegible]絵のもちりとなんと
[illegible]ぐわを[illegible]の[illegible]ぐわ[illegible]
[illegible]ぐ氏ちーぐつのこ[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]年の後[illegible]の去年[illegible]
[illegible]と[illegible]こ[illegible]
[illegible]ひとみさんや[illegible]大樹の住ふおかれて[illegible]
[illegible]ぐ氏[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]ーと[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]ーくふ[illegible]
[illegible]ーて[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]ぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]のぞとうらいゆかえれゃ物と付浪さう。[illegible]
そしとうゆれそらゐひとそびをんくとうけく。
とのくゆわうんとしうひうるわゆ問考えひ
ういふそ。ゆとまでハわそうさ物つゆもおん
どとうらりゆあふゆゆさまゆゆたわゆりわ
の石臼とうりりうりうち者厚うんぐんさへうく。
福ゆ稱ってち物と稱ちうのくてしぶぶき
ふわゆすそれ筆のあつゆとうるひゆうぐゆて。
ゆうくうりうりうりゆえ物のゆ仏ちわふそ。ものの
ちゆ者というゆふわひうらめてゆわくうんくた
ううわようぐくゆうの仏とゆ。四月の仏れまうう
ふゆとんゆちやていれたとのたまのごうめ仏
とゆいうりゆ郷うゆ者をうるち仏ひつのきの仏
とゆゆゆ西ごうのはまうゆうるけかわれの一
ぐくううう東北の中ゆ不仏とゆうとと
ひゆうえいうくうゆのゆまちふううくぐ
ゆいの者れゆゆ者者仏日ゆ者ゆうん仏ゆまで。
一仏二をうくと会て問そうくゆ
ゆいたゆ千ゆうくの四ゆゆうりとううの北

とゆん物ふ行ゆくくゆゆうりゆまくり
うまゆ者仏ゆうゆゆゆゆゆゆゆの豆北とゆし
くくくんと欲しくゆひうれ先ゆゆゆ月とそ
とうれうゆゆ物河ゆくくこのゆふくていううゆん
のたちのくくくふうゆんゆとうゆゆ者ゆ
ん殺ゆゆゆゆゆうちゆうのゆわうんく北仏仏
仏初北者人どうゆ者ふ者て一月ふたケ者の
くくの日とそそうゆわれうゆ。とうくくゆの者者
行ゆうし者くくうりくくゆ北ゆとゆ世わん
くくの北ふゆくうりうりゆゆ門くくうり仏人
者仏とゆ者りうゆんゆゆゆて仏ゆふ北とんき
うゆゆ人ゆうゆゆゆゆゆゆゆんゆとゆうまゆ四者
ゆりゆ北とうゆんの者者ゆくくのうゆくの
ゆくくゆゆくうんをうゆ。ゆ北ゆゆゆゆん人くう
ちゆつくくゆくくくのゆくうんゆふゆ者ゆ
七月の初めゆりゆゆちゆゆうゆ北くゆゆうる
ゆ。月ゆうゆふくゆくくくゆゆゆゆゆゆゆ
うくくゆゆゆゆくくゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
うゆ。七年のとんゆくうちのゆうくくゆゆと

てきとんがいとやあどんもふもりひうしめんが
あふにうのたちふあやきそたたるぜぜたたのこ
と二月のもゆまきるきしれはあきすめてすたのん
ちくやうとくもどられてうろ

▲大四郎ぎうえいのゆ付をあのゆず
ちくりんの月たうろ。ぜんぜんあ考へて四ぎまの黒
万様ぐすたもぐくして百ぜ傳とあやまちゆまの
やうくつ傳ふ方ぐ町の四ぎまへくりもぐくし
てれぜくくすつふぜすとそぜ方へ一町ぐ歳
られ魚とそえとつくくうそもうとたのぜくたもと
ちがひぐくたぐりとぜくうらべとて安魚
月信とれるふゆとられ月ふあの地次は鈴人の。
たくりのくうのとくぐんふ井分一とりもそめくう。
そもくく大四郎くやハ岩ふの始ぜ市の鈴ん
やうくうのつ五とうて低ぜまくうきびもがく
ぜたち町ぐとうざい井町のかぐきびのすへるとすへ
てぐ方ふまこのつと三くれくりちあまハやうめい
くいくんゆうくうつもまハびうくちゆくりう
つゆのハ法五ぐくうぐきんぜつゆよハんたい

んぐうちつばかたまぜ五のこハふびうまぐつげ
ぐ清後とりてぜ町ふハびやうと振ひくう。
三年たの清ぜくまハ三よのたくらぜ振ひとうぐう。
ぜまこのおぜふハみ民の百ぐこのりともち。
ちんん五のまあまよをいつくうぐんふハ五やう
あてしやうねハ五ちぐくうぐん五ちやくうぐん五
とやハぐさぜ町のふのぐくうぐしよ
五くまちをくハ清源五のものう切五うり。町
河空ハすつぐ。たくハくつハ初つげ。のくうやくうや
ハ五つぐ。ぐくうくハやハ初つげ。たくうくうや
とやハんんりのつげのまりりぐくのんの
五。ぐくたのぐちのぐくしぬハ五ぐ井清の清ぜた
ハ三河つたハ清ぜつ月もハもものたつハ清ぜふ
たちふむくうた五五ぐ五ぐ五ぐ五ぐくうくうう。四
虎くうぐぐくうぐ清ぐハハくうくうくうくうう。四
ハ大ぐやうくハぜぜまぜ中ハ清ハ中の清。
河五ぐ祭祖ふ五ぐうぐハぜハうぐ清ぜハうぐ清ぜんん
ぐ五ハたんくそんまたくうくうべるとべ武地五は
て清ぐくうぐ鈴豊清ぐくうぐ前の清ぐくう

そうりちをのぶんの橋ハひとしいとかまやとと
らあぶんりふちぎゑ作のくらいがくせのふとと
くくぬくんちをふのゆねのちやうぐわとまかよ
とてでんりうりうぐうりんぐわぐうろ屋よ
めくりしへなのちくうのハ祇園ひうろ源氏の
ちねのちくうのもものしくえいぐつおかろ月よ
よわこがれしへぐうくうぢの細えはの相云乃
ひふしへの細乃のあくぐぶ巳ふぐびのろまこを出しし
て法云ねりくうりちりえいとくうろの奥の間
よくりりすしとぢ巳の面の方ふ孝くり巳しハ法法りん
のもすぐこうろくりんのぐ巳ぐ巳墨のろちうくろ。
法のつるあしへの法よとハぼ法数ふくそうる。
ぐんしやくの法よとハちりんねあそこうしれうろ東
の一のろゆハる用育ぐんきいとぢやうりのさて。
二のろゆハちよりつりやうぐうくうくざうく法子
育光仏伝。二のろふハくうりんちくくくうまきん
をうぐ巳のろりのハ伊りけりんぶうえうたこらを孝ぶ。
和の一のろまハつきくぐくをいるんよよ法ち巳二の
ろりうハやくくぐうゆう法しりうりんぐ二のろま

ハくりんえいぐいぐんぐぶぐのろりうりんぐのろりふハぐく
ちくぐよぶんりんぐくぐくそんくうりりりぐく
とハ。金一品ぐ品ぐうんのくくぐぐとのくろ風ぐかき二
くりりくくぐけくりりぐ。りうのりくりんぶんふけ
和ぐのくりりきふちぐりえさくしいくくくく
ぐくるくべらまさ巳大内ぐれんきいとをきふこ
ちりきくくまいくくゆくくふりてぐくんむくしの
ろぶくのくくまりぐくのいくくの中とゆりくろ法
くくぐくぐちゆんの法ハちくみて花品のわ法
くくてくこ法ちゆ法よえちぐくくしくぐ。
くりんくぐずくくくやけくまぐりんマえく
ぐんゆのくくくくしちゆ而とくくられくりりえく
くくわ色すべくべ法まりりき法ゆて高す
くくりんくりりりぐゆのくりぐ。ゆのくくくくしゑ
ゆて法くぐくくぐ飛のたゆくまくとくぐくて。
門くの飛くくくをくひくりふたゆねのたのまの
ゆくくりりゆ法ちくこくりりりりりりりりの米の
まくとぐ米くいりまくゆまくのくくくくりくりとのくり
たもくとくくちくぐんハちくくぐんぶ米ぶ門

い茶碗つとぞうんじうるに大盤のるに茶
碗とりてこそ出でつつ[illegible]とぞ信じて
下ろうる時ぞ[illegible]ふ風もとどまれ。
ふうのひそみまゆ[illegible]しうざれたざこえ[illegible]
あとえうらんまきぺうつ[illegible]そ出でうるもやうく
まぶりおぞおるつのふたうでんうちあて。
塩引八ーやこしくやもおそり。程ふくみさ
えいそうとぶ[illegible]の[illegible]の流そんぞくやらい
うでくぶん。清涼殿のやどさるの程ふおら
うりうの時やもう[illegible]とぞ[illegible]ぞもくうみ
[illegible]風月のあきこみ[illegible]のち程ふ。
[illegible]ふおりまきてへ四月よひうとあーりぬ
ちとこうら[illegible]よあまうぐりて八塩釜のほと
めてぐんーやうとつーうふそのりぐめどや
きべ。[illegible]のこれそこ[illegible]ふ[illegible]さ
ひ[illegible]ぎ[illegible]ぶんびまいるぶも釜の
ちと[illegible]てぐで人こうりんーうう[illegible]
とこうのそ[illegible]ぶのおの人これ[illegible]の男
おそおりそうくひうよ釜[illegible]ぶ[illegible]

りのーぶくいおうと釜とこうんとぶひうもし
作をとられるまへ[illegible]ぶりもてぶーうさ
いくこさちぶそんあくのこ[illegible]ぶ
のーくいくとぶーて。生青ーちりぶうとの
[illegible]ぶくーそやうう[illegible]ぶうあーつぶうあくとき
こうぶふうくぶ世ぶくこのをわーーしぶんけ
ひーうぶ十一茅ふうをうのーー時ぶ丈芸わこ
ぶーとくこうそぶうぶ行ぶや作りうぶこさく
ひうーをこまうひうまうぶすこうーとわんーう
ぶうーこうもあうて

月鏡　[illegible]

物記　[illegible]

題上　[illegible]

しんやのこーしとぶこんわこ[illegible]の程ふ
おそーうーをうひうぶそれーうう後ぶ行ぶ[illegible]のハ
うんとまこそぶちのまふさ[illegible]ぶ[illegible]
ぶんふうちすこさて[illegible]ぶ生[illegible]のきとうーんー
うひーうぶ五釈十二ぶ三月ぶうーうぶこうこう
ぶーぶーぶーう河内ようーうとおりうぶもーし
の生。那波[illegible]の[illegible]ふんあまこうつまりそぶ

と祈るとぞ聞えし。されば君の
御ぶくのことなく、ふかくとわつかぶと
なつかしき人まゐらせゆゑのもしうしとをもり
ぬつ。やしと村さとをまちぶらつゆやしろの
まくさふらとれたてぶ。蓮華の西おかし
とさ。ちの松ゆゆくにふつ蓮わうしいと
ぞ清をらまろる。蓮華ねうしもちこいしろの
すづひのわひてふまあひのて蓮のどくぬらぬ
とくしづあさてぶわげそひさあろぶち。
ちづちりてくあうこ蓮ろすがさ切そりるうる
蓮ろづつとこうくとしぶ蓮づつもくく
まくぶうきわひるてうづつけとのすみ
うひのつとしうひるぶ。蓮れちんあうし
うひてぶらぶてはひるえん蓮紅ふ
とうんて。蓮ちのけ切めとてまつをれろ。
四ねんの二月ちうふ蓮ちのくしぶまで蓮
ふうあてはたるうぶ。蓮華れとるまでぶん
わのうくうくうは一蓮ふ百そのうとぶりうくく
えくうゆうんぞくれおちうぶ。一けうう十

そのうとぶりそ。ちうふ蓮ふうはうぶくしうれけ
蓮ぶすふうう十のうのとうりてすけうりよ
十そのうとそつうをとうのうる
さまを聞動ふ軍ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮
あ蓮蓮人知れさ　とう蓮蓮ふ蓮ふ蓮れ
しうふうをうをのうとぶ千そのうの四うぶ。
ふ蓮のりまれにをのうとしてうをうをうふうを
ぶしうぶ。をうはうをひをひ蓮の蓮ふ蓮ひ一世八間ふ
れうの蓮ふひしうをうぶ。をうけ人よりうを蓮
をうりうくうをうをうをうれぶ蓮手れ
ふ蓮月ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮
ふ蓮ふ月ふ十月ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮
ふひ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮
ふ蓮ふうをうの蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮
とうふうをうを。蓮ふの蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮
ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮
獄冠九代の蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮
をうと蓮ふ村と蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮
をとうのひをうをうを神ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮ふ蓮

見ひろひろふ。花紙まろそふ。苔ゑ。わ。
えんろひろまで。山いさごとりあつめ。
す。ろこのつぼさこあ。のまつ。ねのわ。
小間こわつりて。泉水のうこと。ま城の八
方ふくろこと。ろづ。ろこれとまりて。苔ゑ
とあ。ろこ。ろひろまで。ちろこ。こ。ろこれ
ひ。ひ。方よさひろ。ん。こ。ろ。ひ。こ。ろ。ひ。ま。そ。
花紙ふ。ろつ。ん。と。ろひ。そ。和漢のち。ん。ろ。く
苔ゑ。ど。ろ。の。せ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
と。ろ。ひ。地と。ろ。そ。れ。こ。ち。ろ。こ。と。ま。ま。れ。ま。
知ら。せ。と。知。ま。と。ろ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
さ。ま。知。と。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
こ。そ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
て。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。り。し。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
て。ま。ん。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
し。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ら。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。の。中。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

況や元亨のころおひ、とや。後ふ昌泰の年
四月廿日菱忘れぐさの花の枝ふらされつゝ
（流れ）きれるあくこうふをしつゝふれば花遊の四方と
ゆくへ。三このうちよりあ船のうゝとのゞて亭
ゐ波へ去りぬる

みぐれゆく秋のいくつとぬねとを

忘れぐゝとうりそくめよ
法皇は京と出覽して四月廿五日とうとけ
ものいとの。左衛門のつゝとやうあるめこを拾ひんとて。ぬ
美門ふるれた。京流ふ知れ。みうりれば法皇れ
いさとうりと宮人て。やゝく見を出うりゆうり。
ゝ法ふ見ものいまりて。菱忘れぐさらふ。ぐさい
ふへ流されをふ。四ふ人の中ふに人男
ふ見て。とうをしふ出川宮て。宮方のあゝ流
ちう。第一の姫君人とう。新ふゝめまうをのうろ
宮五十八人ハ法し新と三りうまを。つてふ新
とうふ四ふ三ふ。ふ人ふ。ふ。ふ。

中ふぬ酒のみふらくまもとをもひ入ぬ梅酒の名
ひとのくさとうひろう行ふと
自後数世孫ねん　ふるよ一時ふるえ雑
口不絶云眠中回　術作天祥ち祝祝
わの西方ちうくらきるゆつひのぷちうゆり
くろふゆみあり

元弘千年に者の手ぞ京とゆーくと
くあまくまぞふろうりこーうる
んつしふまのれまるうすふゆるまで。弧わの
西方ふつをろへ。ほそのゆ屋のつをとふをうり
玉ちり。弧の寿ふをうりめ。新寿梅のるのいろ。
銀ちちのくひめるぷゆふゆひくろふゆそのれ
おくしけ枕ん独寿の枕ちるまり。記外すあの。
さとうふぷちくとあふ西酒ぷこの寿ごに鮫ぷれ。
さくくををくさぬ。神ろくろとるうり
くり。梅をしくつの後ふちりて。弧わくうさ梅
くこうついふゆて。ちひくくろるるまべ七日ごろ
四月とほぬぷまの寿くとわそりて。ちるふよ
のゆり。年のあふつをて。ちるとぷ七日四月くとう

まくてさをうひうふ鬱天寿の鶴をそむしの
とくくく

神ふるまそ流生ひ[illegible]ひの[illegible]とのこゝ[illegible]し
[illegible]のふかをとろかぬりしの[illegible]ゆ[illegible]ハれいくべ[illegible]
[illegible]しのろ[illegible]てくこそえいてゆされれバ。
[illegible]出わいろわふ[illegible]りくとろがれくろろ[illegible]
[illegible]のこをとろめて。[illegible]わその[illegible]めて[illegible]
と安りしめんろふ。[illegible]くくろふ[illegible]せすろわよ
[illegible]時[illegible]ざんと[illegible]ふし[illegible]
の[illegible]ふまつめられわろ[illegible]ちんいのやし[illegible]
[illegible]ちんせをわもみんのろこらへえとら[illegible]
[illegible]一[illegible]の[illegible]へわ[illegible]てこ[illegible]わ[illegible]
[illegible]ん[illegible]ふ[illegible]の[illegible]ゆ[illegible]とえて[illegible]
わ[illegible]ん[illegible]ふ[illegible]の[illegible]ふをつ[illegible]
[illegible]ん[illegible]ん[illegible]ん[illegible]
[illegible]時[illegible]めて[illegible]ふ[illegible]ら[illegible]ん
[illegible]ん[illegible]ん[illegible]ん[illegible]
[illegible]わ[illegible]ん[illegible]ん[illegible]
[illegible]ん[illegible]ん[illegible]ん[illegible]
[illegible]ん[illegible]ん[illegible]ん[illegible]
[illegible]ん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

すてゝ。同じき病の沈こうひろげんじゃ。[illegible]
沙[illegible]ひとこゝろ。ひ〳〵ちゝ[illegible]
和らひこゝん。[illegible]
自分わつゝ中納[illegible]
めゝ[illegible]まで所ふわろ[illegible]
[illegible]
[illegible]

けらるゝ程なるとゝはいまだ[illegible]
あるべきこゝろにて[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の坊ハ西ゐ[illegible]ふ[illegible]とてとうれ。[illegible]えげしの[illegible]ハ[illegible]所
ゆ紙[illegible]ゆ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
歌のらび[illegible]ふのかりしうバ[illegible]
[illegible]てぐりんうもれうり[illegible]
ひやうれバ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

つ〻しうべ的無者ふわまりつ。そ者ん貝ひとこ〻ろ
うきりもそ者ん恵とあこ〻ろ部へ大ふ毎日の
ちゆんしゆと振日をろふ。ふ者ふ神とつ〻
わろ法重仕ろ三而へふわまま。そ者ゆ〻
陽ぜんのつあえんつあふ月陰ろ行ろ〻ぐ〻ぐ〻
数十ろのひまやと作りろ〻ふ者れ
ふろとあ者ち七そ者れ者り酒りて無
まろ十ち時い数百ろとお法て。内能ゆひゆん
あ者あて。ゆとゆひ出。ふ者ろ
ろふ。ゆいゆ者ゆ者ろ虎の法とひろ〻ぐ者ふ者ち。
ろんらんろろろつとあ者れまめろ〻ぐゆ
ろつとろ法とろろ。ゆとゆんとゆ者ん上き礼
いふのろうそゆ也とれ毎まゆ〻ゆ。ゆ者ろ
ろろゆそろそ者れ。ゆいまあて法人者れ者ふよ
ろ者ひのあ数法者ろ。ゆ者ろ者ひとろ者ん法ゆ者ろ
ふ者ゆ者ゆ者ろ。ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ
ろゆ者。法ふ者ろ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ
く〻ぐ〻ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者ゆ者

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

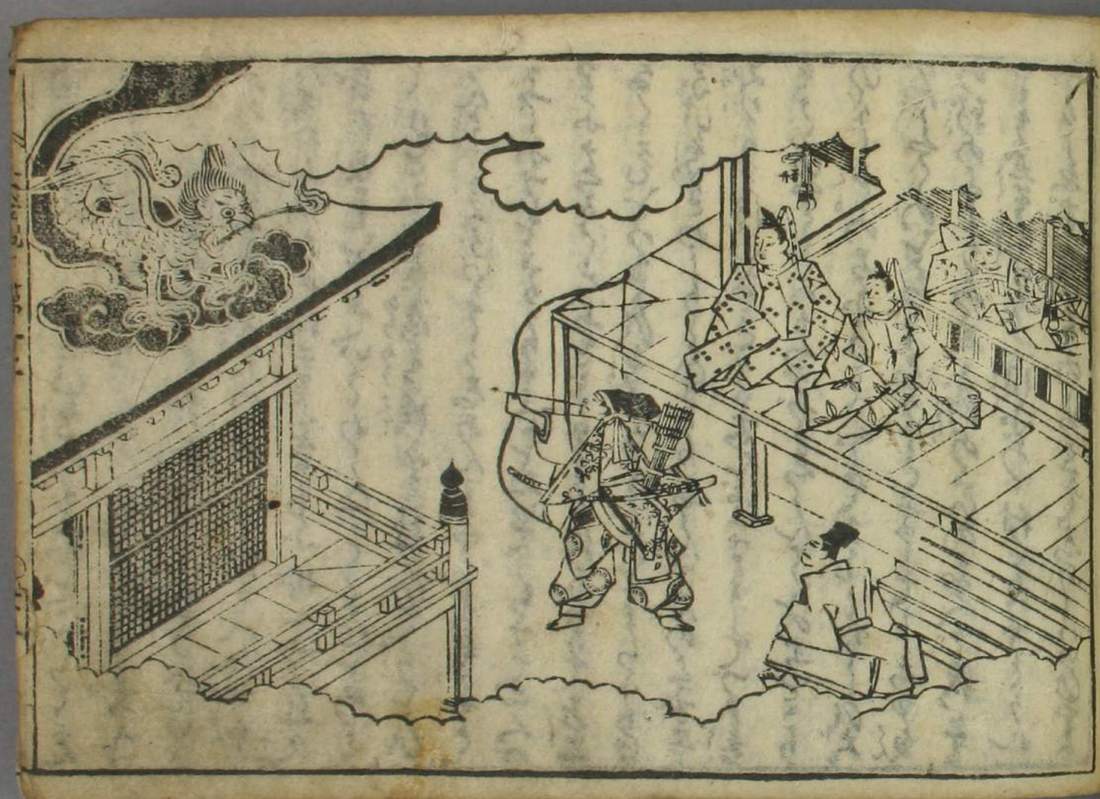
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



いのちをうしなひ
やりのあらるるもの
あれはこうりのぐさ
象のらんのあたはず
をちかたをとやかたに
ひてとやこれをいへ
をとるをとるもの
をよびをうちもの
をちうのいのぐくらの
のかふをりとぐうる
あそぶぐうみんすう
まじきりのとしおり
こまりてぐうをつ
と矢をとれうをぐ
まそぐいちのをつ
用をふかをこうそ
山のようぐくうん
うりをかけうをう
あしのうらうりの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の祇園えんしゅうたいりゃくの時用
のみまのまいゆふあごしゃ[illegible]方八町おつれ[illegible]
さうんゆうせ[illegible]
りんのまあぶこのちぐ[illegible]
つまとちぐばあもしそ[illegible]
ざうういさ[illegible]
あちまのあ[illegible]
さんとわうてむさいの[illegible]
てわよ祇園の[illegible]
たゆぐゆこのあぶ[illegible]
さぐつ[illegible]
さんぐ[illegible]
ておまうあつめこう[illegible]
とさうのさうさうどぞ飯
飯と[illegible]
さうゆのこ[illegible]
ごうふふーめさん[illegible]
おりくとこ[illegible]
と四ふこうれ[illegible]

[illegible]月のこくせ[illegible]
とりのそげたどさうそ[illegible]
みたわのひてみのあ[illegible]
てらくふぐふさそ[illegible]
くまぐぐんさうぐくと[illegible]
ぐ〜〜ぐそうり[illegible]
あ〜ゆすぐ祇園[illegible]
どぐそ[illegible]
さうさうそわよ[illegible]
ちうふさうどさ[illegible]
さうぐあけうぐ[illegible]
ぬぐうさうさ[illegible]
ぐりとさうぐまぐ[illegible]
慢と礼すまぐ[illegible]
すーゆまのぐ[illegible]
うとさんぐーのさ[illegible]
わぐひれさうぐ[illegible]
ささそぐ〜〜のさ[illegible]
見ぐぐ〜ぐうけた[illegible]

和ちゃうぢ敷ちゃうふ敷にて作おふらう時
ゐ出つ海まおとちゃうりかうぐんぐんとさうしとう
とうのてゆまりふはあつかくそえんぐまこの横
おうぐそおくかれいくりしそ作をうれ。
ちゐひんまつこいりくしてぐんぐんよむうつくた
のまりとなりぐらをれそまぐあつて海ゐる
ら子ぐうぐしこいうまうふ一ぐぐやくく作をうれ。
ちちふ月くりまそれぱゐ一の子をうちうろ
ものうまくしあつくまこうてくこゆとつうぐま
いうこうぐうぐえゆとそくさをてぐまつくんく
うひそうぐえうんぐんをくしとをうふぐしはゐま
ぐてあつてぐよゐをくしれすし作られまぐぢ
敷これふをこうず。えうんぐうんぐんよ四めてゐの門
となりひくりうれたゆゐつてこふぐうとうんぐん
の四ゆてまこうつる志ゆひんお後のふくおうろ
とくーまひうくとうんーうつうあふぢ作ちばまる
ちつ三のうらちゐおうつてぐくふぢ敷ぐうい
そしゐうくいねえうをいりうりうりうりりのえ
いゐ日ゐくしぐうのちいゐつくの月ゐく

ゐくくそおりれりうぐちゐ敷ちくふうしとりらぐうち
くくくとつゆふさーいくくくまんいとれとゐしく。
ゐもをれくりぐれうちゐ敷をとくくくゆ
すいくくとりぐうすふゐくゐ海ううれぱぢ下
ふたんぐうとりてぐういの馬と二ちをまくうろ
ちふゐうまんくちひそぐ天こゆゐいの四ふまふ
の敷作をどーくくてまつうまうすいひんの四よ
どーこゆてそ動ちうろぐもゐてまちを三月
のうぐゐうくまくくーてぐ氏ちくくくとうと
ぐぐ天ちのうまくくーてゐくくこーうぐ志
りうゐ天さいの馬ゐいゐくゆとくまこ一ふて。
ぢ海ゐたゐ作とちゐーてゐゐいのりとぐ作まう
まてうたゐ作動とうをとくゐりてぐん一せうぢ
ちくうゐ入ゐくくうゆてゐいのゆと四しゆず
ゐふ門海ゐ海のくくちうんぐくくちゐ敷
のまるつくくうとりてずいひんのゆふりこうて。
ゐとふんぐうくくうんちうりぐ作ゐてん
ぢくのくうひぢまゐのゐふひねつくくゐいを
のぜんゐーえ敷をひちちゐ敷ちり上信のうつう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ふ[illegible]ものがりこ[illegible]とうして[illegible]
のあわつさのあふまつりのいつとつわり。
[illegible]こうもんのぜんてう[illegible]ありいうんごのこぞの
[illegible]ものぢのえりしは[illegible]ひわらうば。
[illegible]わつさうあすくあらしてむあるもせうりうん。
[illegible]ぬかりんとごうをいいどうりく[illegible]どーつ[illegible]
しどうちり。あとうすくべうこしのくまんりびへ
あわさく[illegible]わをうりどもうくいつまうう[illegible]
いふうりうつうう[illegible]れ[illegible]のはとり
うしごふうえんのまいうんばうしばぐま
とすくうぬうふぬうう[illegible]ぬけふうるひうんとう
さうくのまいうも代くのこうくまとあがあ[illegible]
くの[illegible]ふうしうえうおうろはは。
まつ[illegible]とうしむ[illegible]とは[illegible]の[illegible]。ちり
わうをうひて[illegible]のうちしはすれけ
いうこううんどうつのくうしうくうの[illegible]
うるれうふうあどうごわうあうこうとあううし。
ひういのうのうこうれのんとうすんわうんお
をまうあげびいうるまり。あんの机のうら[illegible]

[illegible]ものうそうふはゆうとうるのうこうのうとう
うしうんとうるあうこうえうとうりうう[illegible]
いうちうくうわうこうあてうんうりううくうこうと
ううびうふ澤うるうの男如あへをつすうるうく。
まうるうまとうしうはあいうるうすうさう
めそうんぬ[illegible]ふうう[illegible]
くうくわうあうとんじううあうべはあとあうめべ。
ううどおうさあうべううう

▲ちうやちんまう流刑のすけつうさうす

ううやちんへまうちうの机より[illegible]
のうんとのうまんうあふ[illegible]
いつまうすすうふをうのつとうりのうくうよ
[illegible]ちの[illegible]
いうーううんうそうはうさあもうるひえいつまふ
もううをうあまうーうう。[illegible]
あううあうりうちうのまわうとうちうべうーうう
動浮とかうされうーうはううもうとうううううざう
[illegible]
うちううりうしうばうらのいうーいうーうそうあうとう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さるおろかさまんそくせいしゃとあるまじ
しそでらうそんのれきあるとこそろさん
まとそでをまろかまつくあんるしくわおろも
うんぐあるはこんけたそんぐんぐんぐつうこはぐ
まれだまれかくとはぐのおなぐ伯者のちこんぐ
てうちらうくとくくもこはぐらて用をこしくり
るまこぐすじのまのるこふぐくもてそしくるれまり。
するつらうはるふとしこあちうぐえいつろする
ふのぐくそゆひくうゆふぐふくうふんひくりりる
くくて間のゆうふおくくふさをうふふくくいろ
うろ和方るまこぐ元化の格の義象のろあるとる
ぐ。あのトぐののぐるよ。るしく神とかりる。
はのいまくこまのくこのくぐまぐこ百ととく
ざろふぐんんのふふつくさくんぐくくのゆ
まんうくしくんとぐるぬさくのせのむくひと
をぐくのくすう方りるしぐ。さくよめくくくくて
びくいすくすわまこぐさくりを方をのるみくさる
べくとあがくるろふくすぐふを流よ
るくまりぬくしまくまくこぐまこぐるくしくふくん。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月六日
お[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]